

事業の名称：若手世代による交流活動創出事業（温泉夏祭り）

団体名	温泉地区地域自主組織 「ダム湖の郷」	事業費	279,228円
代表者	会長 村尾 富義	補助金交付額	200,000円

現状と課題

地区計画策定へ向けた住民アンケートや意見交換にて、地域の担い手の確保が大きな課題として上がる一方、若手世代からは、「若者や保護者世代の地域での交流機会や楽しみを自分たちのアイデアでつくっていききたい」といった前向きな意見が聞かれた。これらの意見を受け、地区計画では、メインテーマのひとつに、「若い世代がのびのび暮らし活躍できる地域」を据え、具体的な取組みとして、「若手主体で企画・運営する交流活動などの実施」を掲げた。

事業の目的

人口減やコロナにより希薄化している地域の多世代交流や、温泉地区のPRにつながるイベントを、地域の若手世代の企画運営により、地区内外からの協力を得て実施することで、若手世代の関係づくりや地域活動への参画のきっかけづくり、関係人口の拡大、温泉地区の一体感の醸成を図る。

実施内容

◇実施状況

- 地区計画の実現に向け、令和5年度から、地区内の30～40歳代前半のメンバー5名で、具体的な取組を検討。若手世代の仲間づくりのきっかけとして温泉地区全体での新たな夏祭りの開催を立案。「ダム湖の郷」事業として取り組むこととした。
- 地区内や出身者の若手世代（20～30歳代）に呼びかけ、16名の企画運営スタッフにより実施。
- 地区内のKANUKAPARKで定期開催されている食のイベント「雲南 EXPO」と共同開催することで、運営の負担を軽減するとともに、地区外からの来場を促進し温泉地区をPR。
- 地元の槻之屋神楽の協力を得て、こども神楽のステージを設け、練習を通して神楽の継承活動にも取り組んだ。

【イベント概要】

名称：温泉夏まつり 日時：8月17日（土）18:00～21:00

会場：旧温泉小学校校庭

内容：ステージイベント（槻之屋神楽「こども神楽」など）

出店（雲南 EXPO 出店者、子ども向け店舗 など）

来場者：約250名

◇成果と課題

- 本事業に関わった20～40歳代の若手メンバーで、グループが結成され、夏祭りだけでなく、他の活動の実施も検討されており、若者による地域での活動の広がりが期待できる。
- イベント会場の準備や片付けには退職世代の地区住民も協力。出店ブースの運営に中学生スタッフも関わるなど、多世代のつながりをつくる機会になった。「ダム湖の郷」と若手世代との関係ができ、様々な活動に声を掛けやすくなるとともに、若手世代による取組みが地区内の高齢層を刺激し、地域づくりへの意識を高めることにもつながった。

